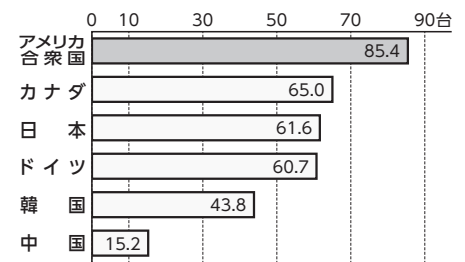


1. 車社会や大量消費の生活様式

- (1) 資料Ⅰを見て、アメリカ合衆国の生活様式が大量生産・大量消費である理由を考えてみよう。

(例) 人口あたりの自動車保有台数が多く、ショッピングセンターなどへ買い物に行く時にも自動車で行くことで、大量に商品を購入することができるため。

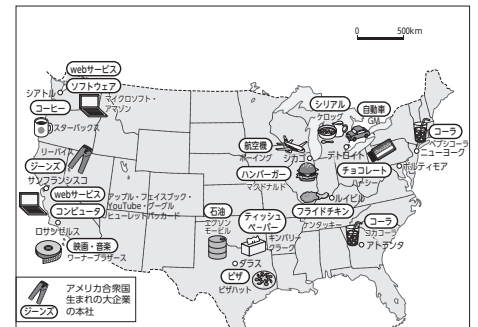
資料Ⅰ 100人あたりの自動車保有台数



- (2) 資料Ⅱから、自分の生活でも身近になっているものを挙げてみよう。

(略)

資料Ⅱ アメリカ合衆国生まれの大企業の本社



- (3) 多くの国に販売や生産の拠点をもち企業を何といいますか。

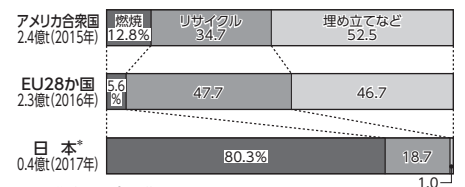
多国籍企業

2. 持続可能な社会を実現するための課題

- (1) 資料Ⅲから読み取れるアメリカ合衆国の課題を挙げ、その解決策を考えてみよう。

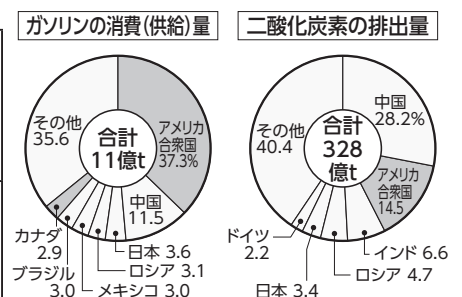
(例) 廃棄物の量が多く、半分以上が埋め立てなどで処分されている。リサイクルの割合を上げるなどして、自然環境に配慮する必要がある。

資料Ⅲ 主な国の廃棄物の処分方法



- (2) 資料Ⅳから読み取れるアメリカ合衆国の課題を挙げ、その解決策を考えてみよう。

資料Ⅳ 世界のガソリン消費供給量と二酸化炭素排出量の国別割合



課題

(例) ほかの国と比べてガソリンの消費量が多く、地球温暖化につながる恐れのある二酸化炭素の排出量も多い。

解決策

(例) ほかの資源や再生可能エネルギーの活用、公共交通機関の整備などを進める。

本時のまとめ

◆ 持続可能な社会を目指す上で、アメリカ合衆国の生活様式にはどのような課題があるのか、説明しよう。

(例) 生活様式として定着してしまった車の利用や大量生産・大量消費といったスタイルが、ガソリンの大量消費や大量の廃棄物につながっている。こうした生活様式は地球温暖化や大気汚染の環境問題につながる可能性がある。